

鹿児島市慈眼寺区画整理 竣工

105戸、新たな生活拠点に

鹿児島市慈眼寺土地地区画整理組合（米森昭春理事長）は6日、同市慈眼寺で竣工式を行い、竣工を感



事業安泰を祈念する小牧社長(左)と小坂社長
＝鹿児島市の現地で

謝するとともに事業の安泰を祈った。同工事の施行区域面積は4・97ヘクタール、計画戸数105戸。名称は「中央慈眼寺台」となる。

竣工式には、同組合、地権者、工事関係者らが出席。神事では米森理事長をはじめ、設計を担当した小坂幸雄地産プランニング(株)社長や造成工事を行った小牧隆小牧建設(株)社長らが玉くしを捧げ、今後の事業の安泰を祈念した。

竣工式典では米森理事長が「施工業者の皆様には、当区域の最大の課題であった急傾斜地シラス台地の土砂流出の事故防止対策や段差のある擁壁工事等、豊富な経験と高度な技術を駆使し、無事故無災害で立派な宅地を造成して頂きました。当団地が新たな入居者の生活の拠点として発展することを祈念します」と挨拶した。

造成工事は、平成13年2月から本格的に工事に着手、2年6カ月の工期で完成した。計画人口は368人で、公共施設として公園(2カ所・7248㎡)、街路(W6・8m)、上下水道は鹿児島市公共上・下水道に接続し、電気・ガスは九州電力・日本ガスから供給する。総事業費は約16億円。

有迫組が安全大会

新社長に重大災害ゼロ継続を

新社長に
清 隆



災害の未然防止を誓い合った大会
＝鹿児島市の照国記念館で

新社長に就任した有迫清隆氏



なお、社内人事も発表され、有迫社長が会長、有迫清隆専務が社長に就任した。有迫新社長は「身の引き締まる思い。さらなる事業発展のために尽力してまいりたい」と抱負を述べた。

影

【永年勤続】30年＝高橋貞男 永留上▽25年＝森岡重光 末永一己 図師隆雄 宮田東▽20年 斜地崩壊対策工事(常盤川) 橋実 川畑政廣 安藤清一

(株)有迫組(有迫清典社長)は6日、鹿児島市の照国神社で安全祈願祭並びに創業55周年・創立35周年記念安全大会を開き、社員、協力業者などの関係者が出席して、災害・事故の未然防止にさらに努めることを誓い合った。

当日は、照国神社で安全祈願祭を行った後、照国記念館に移動して安全大会を実施。大会の冒頭、有迫社長が「約18年間にわたり重大災害が発生していないのも皆様ののおかげと感謝申し上げます。今後も無事故で明るい職場を目指し、社員や関係各社が一体となって安全管理活動を進めていく」と挨拶した。

続いて、各種表彰や、光明禅寺の松本憲融住職と鹿児島西警察署の田原迫徹交通課長による講話が行われた。このなかで田原迫課長は「現場での安全衛生管理だけでなく、通勤や現場への行き帰りなどにおいても安全運転をお願いしたい」と呼び掛けた。最後に、社員代表の阿部正茂さんが安全・品質方針宣言を行い、大会を終了した。

リニューアルテーマプラザ

オール電化で相談等

松下電工

催された。

購読料のお支払いは
お手軽で便利な

自動振替で

鹿児島建設新聞
099-227-5100へ

石倉復元の上棟式等

地域憩いの場に活用を

今和泉建設

(有)今和泉建設(今和泉勇社長)は6日、鹿児島市大迫町に復元を進めていた石倉が完成し上棟式及び落成式を開き、地域

住民らが伝統的建築の「石倉の復元」を祝った。今回の復元は、8年前に道路拡張に伴い旧大迫農協の穀物倉庫の解体が決まり、解体を請け負ったことがきっかけで、復元を心に決め約2000個の石材を保管、3年前に復元を決定。14年12月から工事に着手し、このほど伝統建築の「石倉の復元」を実現した。

石倉には、地域の特産品売り場として活用するほか、昔の農機具の展示や、うどん・そばコーナーなども設置された。地域住民の一人は「地域の住民が集い、地域の憩いの場になるのでは」と語



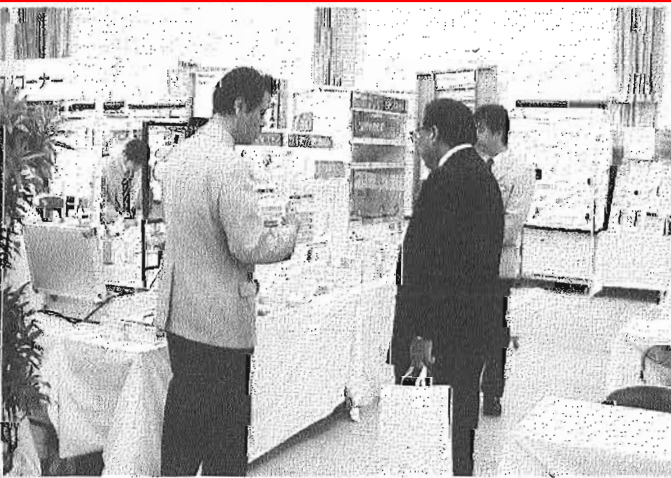
もちまきに詰め掛ける地域住民
＝鹿児島市の現地で

つていた。同日は、石倉の上に棟

梁が上がり、餅やお供え物を清めた後、もちま

きが行われると子供達や地域の人が大勢詰め掛けて、笑顔でもちまきをついていた。また、落成式では今和泉社長が「昭和初期に建設され70年余り地域住民に親しまれてきた歴史的な建物を処分することに抵抗を感じ、復元の夢を抱いて解体の時から、石に番号を付け解体した。3年前に建築に向けて取り組み敷地の調整区域の問題や建物の構造的な問題等を解決し、地域の直売所としてここに完成した。また、今和泉の一字を取って泉石倉と命名し、地域の憩いの場として活用を」と挨拶した。

続いて、石蔵を守る会の稲葉茂成会長が「故・稲葉三三郎氏が昭和4年に建設され穀物倉庫として大迫の歴史が刻まれた建物が道路拡張に伴い解体されることが決まり、保存はできないものか模索し、8年の年月を経て75年ぶりに復元された」とこれまでの経緯を報告。柳井田恵大迫小学校長(教頭代読)、柳元丘柳元税理士事務所が「昔の農機具等も展示され郷土の歴史等を学ぶ大迫の名所として発展することをお祈りする」と祝辞を寄せ、大園盛仁鹿児島市議の乾杯の音頭で祝宴となった。



来場者で終日にぎわったプラザ＝鹿児島市の鹿児島市福祉コミュニティセンターで

ユニティセンターで「リニューアルテーマプラザIN鹿児島」を開き、多くの家族連れらが訪れ、終日にぎわいをみせた。なお、フェアは14日まで。同フェアは、新築需要が減りストック需要(既存建物)への取り組みが業界のテーマとなっている中、省エネ、安心、安全、快適、便利、高齢化情報化のほか、オール電化などの気運も高まっている今日の背景をもとに、工務店や設計事務所、住宅会社などに開発されたさまざまな商品をみてもらい、顧客が抱える住まいのニーズに応え提案、解決してもらうため、開

初日の6日は、省エネ診断のアンケートをはじめ、オール電化のことや資金計画まで専門の係員が対応する相談コーナーのほか、IH試食コーナーなど、多彩な商品とコーナーが設置され、多くの来場者が訪れていた。また、会場には最新の家庭用健康器具などの話題商品やあかり、省エネ診断、安全・安心、セキュリティ、トイレ提案、エコキュート、IHあかりプラン、工事材料、商業施設・防災、非住宅コーナーなどに分かれ展示され、各ブースで多数の人垣ができ、スタッフの説明に耳を傾けてい

無振動・無騒音

- 鋼矢板圧入引抜き工事
- コンクリート矢板・広幅鋼矢板圧入工事

油圧式超高周波
鋼矢板打抜き工事
(在庫多数)



稲森クレーン建設(株)

〒891-0104 鹿児島市山田町416-4
☎(099)265-6651 FAX(099)265-6780

土木工事一式
各種土留工事
クレーン作業全般